



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合



酪農だより

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」ー酪農家の心を食卓へー

特集

「大山乳業らしさ」を磨き育てる
白バラブランディングチームの取り組み

現場潜入

大山乳業農協チーズ開発の現場

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ



「フォレンジハーベスタ」を使ったトウモロコシ刈り取り（琴浦町）

「大山乳業らしさ」を磨き育てる 白バラブランディングチームの取り組み



第4期白バラブランディングチーム
2020年9月撮影

3つの「育てる」から始まった 白バラブランディング

大山乳業農協に「白バラブランディングチーム」があることをご存知ですか？「ブランディング」とは「鳥取と言えば白バラ」というように、共通イメージを確立させ、実態のない価値を作り、認知度アップを目指す取り組みのことを指します。

白バラブランディングチームは、大山乳業農協が創立70周年を機に活動がスタートし、酪農家・商品・職場を3つの柱として、「育てる」をテーマに数多くの企画が実施されました。

ブランディングには、外向け（アウト）と内向け（インナー）の2種類があります。アウトはブランディングとしては、メディア露出の強化や地元学生とのコラボ商品開発、白バラグッズの展開等に取り組み、消費者から見た大山乳業農協と白バラブランドの価値向上に貢献しました。

そして、インナーブランディングの取り組みとして始まったのが職場職員を育てる「白バラ大学」です。様々な業界のプロフェッショナルな講師をお招きし、「コミュニケーションや仕事術などについて学びました。

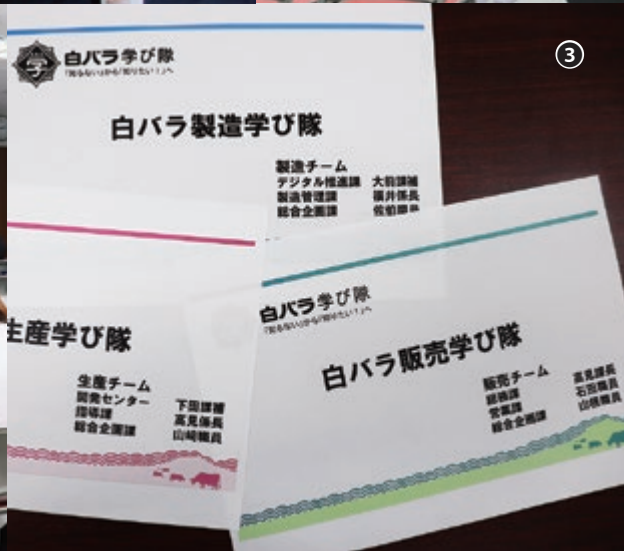
「白バラ大学」は内部の職員だけではなく、外部からも参加できるオープンな学びの場として、その当時一風変わった講義内容で新鮮な気持ちで学ぶ研修で話題になりました。

第4期 白バラブランディングチーム の取り組み

2016年に始まった白バラブランディングチームはメンバー変更を経て、2020年、第4期白バラブランディングチームとして再スタート。各部署より40代までの職員9名で構成し、大山乳業農協で働く上で、足りていないことやこうありたいなどの意見を出し合い、職員の「育てる」をキーワードにインナーブランディングに力を入れて活動しています。

その活動を身近に感じてもらえるようクレドポスター、ブランディング通信の発行など、組合内部で情報発信しています。

白バラブランディングチームはあくまでも「旗振り役」ではありませんが、まずは職員1人ひとりが酪農のこと、商品のことに興味を持ってもらうことでブランディングの意識を広げようとしています。



- ① 2017年白バラ大学のようす
- ② 作成したクレドポスター
- ③ 「白バラ学び隊」講義資料の表紙
- ④ 「白バラ学び隊」講義のようす

次世代を担う若手職員へ 「白バラ学び隊」開講

そして大山乳業農協のことを「もっと知って好きになろう！」と白バラ大学に続く職員の学び場として「白バラ学び隊」を企画しました。

まずは「白バラ学び隊」のネーミングからロゴデザイン作成、合言葉（キャッチ）など、チームメンバーからアイデアを出し合い、ビジュアル化へ。

「知らないから知りたい！へ」を合言葉に、組合の根幹である「生産」「処理」「販売」を講義の柱として行うべく、まずメンバーは各部長から研修を受け、深く学んだ後、3チームに分かれて、約50分の講義内容になるよう写真や動画を使用し、わかりやすいスライドづくりを行いました。

もちろん「白バラ学び隊」の講師はブランディングメンバーです。今年3月に今年度新入職員を、6月には入組2年目の職員を対象に「白バラ学び隊」を開講。

初めて務めるメンバー講師は緊張もありましたが、回を重ねるごとにスムーズに話ができるようになり、受講した若手職員も先輩職員の講義に興味深く聞いていました。

「生産」「処理」「販売」の講義後には、更に理解を深めるために、3択の10問テストを実施。受講者の多くは上々の成績で、10点満点もいらっしやいました。

受講者からは「普段の業務では知ることができなかった他部署のことを楽しく学ぶことができた」などの感想をいただいています。

白バラブランディングには ゴールはない

私たちブランディングチームは、現在インナーブランディングを中心に活動していますが、職員1人ひとりが大山乳業農協のことをもっと知り、一緒に働く仲間を思いやり、お客様に白バラ製品をたくさんご利用していただくことをイメージできるような組織風土にしていくなきゃいけないと考えています。

白バラの花言葉は「私はあなたにふさわしい」です。大山乳業農協にふさわしい職員であり続け、そして創立80年、100年に向けて、歩みを前へ進めるためには、白バラブランディング活動のゴールはありません。



現場 潜入

7年越しの挑戦 大山乳業農協 チーズ開発の現場

大山乳業農協では7年ぶりにチーズの製造を再開し、今期より事業本格参入となる第1弾製品「クリームチーズ」と「カチヨカバロチーズ」のメディア試食会が8月8日に大山まきばみるくの里で行われました。県内のメディアが注目し、ニュースなどで紹介されるなか、大山乳業農協のチーズは発売の日を迎えました。今回は7年越しの挑戦となった大山乳業農協のチーズ開発の現場を紹介します。

大山乳業農協の チーズが鳥取県の 酪農を盛り上げる商品に



大山乳業農協の製造販売する商品ラインナップは、牛乳、乳飲料、ヨーグルト、乳製品、菓子・アイスなどがありますが、この間チーズのカテゴリーには誰も足を踏み入れることはありませんでした。

しかし昨今、酪農家の経営は燃料代や飼料の高騰により厳しい状態が続いています。大山乳業農協では「鳥取県の酪農や乳業を盛り上げたい！」という想いから、チーズ開発の再始動と本格参入を決意しました。

組合がチーズ事業に参入するのは実はこれで2度目。当時のレシピは残



[P5 (上から)] 製品開発センター福井さんの試作のようす／カチョカバロチーズの製造のようす／クリームチーズの製造のようす／こんがり焼いたカチョカバロチーズ／クリームチーズは濃厚さと酸味のバランスが良いチーズです

されていたものの、開発や製造に携わった職員は少なく、開発センターの担当職員は「チーズを知る」ことからスタート。開発、製造、販売で様々な困難を乗り越え、自信を持って販売する大山乳業農協のチーズが完成しました。

開発担当者が理想を追求 目指したのは 「混じり気のない味わい」



今回発売したのは「クリームチーズ」と「カチョカバロチーズ」の2種類のチーズです。特にゼロからの開発となったクリームチーズは、理想の味わい、食感を追求し、延べ1年半の開発期間を費やし、ようやく完成しま

した。

大山乳業農協のクリームチーズは、鳥取県産牛乳とクリーム of の自然な香りがベースとなった、乳酸菌発酵由来の爽やかな味わいの特徴です。クラッカーやパンにつけたり、お菓子の材料に使用したりと、他の素材の味を邪魔しないチーズに仕上がりました。

カチョカバロチーズは、7年前に組合に残されたチーズのレシピを元に、塩加減を調整。ミルクの風味が映える食べやすい味わいにしました。このチーズは職人が1つひとつ丁寧に手作りするチーズ。厚めにカットして焼いても、シユレッド風に削ったり、キューブ型にカットしたりしてそのままでも食べられます。

組合の財産・価値に 新たな命を吹き込んだ チーズ担当者の想い



今回チーズ開発を担当したのは、製品開発センターの福井さん。

福井さんは、チーズ担当となり、まずチーズ作りの知識習得からスタート。大山乳業農協のある鳥取県から宮城県の蔵王町へチーズ製造の勉強に行かれました。

福井さんは「過去のレシピや経験があったカチョカバロチーズと違い、クリームチーズは過去のレシピも経験もなく、原料の選定から製造の管理方法までゼロからつくり上げたこともあり、個人的に苦労が多かった分、思い入れのある商品になりました。」と

その苦労を振り返ります。

チーズが 大山乳業農協に もたらした新たな風



発売したクリームチーズは初回製造分が数日で完売するなど、私たちの予想を上回る反響がありました。

チーズ事業に本格参入したことにより、消費者のニーズに応えるだけでなく、鳥取県の酪農を盛り上げるきっかけとなったのではないのでしょうか。製品開発センターでは現在、第2弾として新たなチーズも開発中です。今後の大山乳業農協のチーズにご期待ください！



販売が開始された瓶商品



店頭にはたくさんの瓶商品がズラリと並んでいます



亀田常務による四方祓い



平野専務が運転スイッチを起動

営業所レポート

「牛乳の聖地」秋葉原ミルクスタンドで 念願の組合商品販売開始！

8月20日(土)より、秋葉原駅(総武線)ホームにある秋葉原ミルクスタンドにて、当組合の180mlの瓶商品3品の販売が始まりました。

どこか懐かしい雰囲気を感じられる秋葉原ミルクスタンドは「牛乳の聖地」とも呼ばれ、首都圏の人々が急ぎ足になる中、なんだか気になり横目で様子を伺うような存在なのだそうです。瓶商品をその場で飲むことができるのも魅力で、メディアに取り上げられた事もあるほど都内では有名な場所です。

秋葉原ミルクスタンドへの商品供給は数年前から商談を続けており、今回、ついに瓶商品の導入に結びつけることができました。

東京営業所では、小前組合長の「ミルクロード構想」実現に向け、首都圏での大山乳業農協(白バラ)ブランドの認知拡大を目標に新規開拓を続けて参ります。今後の更なる事業拡大には皆様のご協力が必要になって参りますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

製造部レポート

市乳ブリック2号充填機の 起動式が行われました

8月26日(金)、市乳・ヨーグルト工場に新しく導入されたブリック2号充填機の起動式が行われました。亀田常務による四方祓いの後、平野専務が運転スイッチを押して白バラ牛乳200mlの製造がスタートしました。

設備の老朽化と、部品供給終了に対応するため更新された新しい充填機は、従来と比べて高回転での充填が可能のほか、パソコンと連携して圧力や温度等のデータがリアルタイムに収集できるなど、工場のIT化に向けた機能を備えています。

製造部門では現在、さまざまな業務のデジタル化が検討されており、スマートフォンやタブレットを活用したペーパーレス化や、シーケンサを利用した製造機器からのデータ取得が進められています。

単なる機械の入れ替えを行うだけでなく、これからのIT社会に沿った効率的で安全な製造が行えるよう、大山乳業農協の製造工場は日々進化を続けています。



商品や酪農について学びました



本所からは営業課の永島課長と指導課の前田さんが参加しました

営業所レポート

コープしが夏休み親子企画開催 オンラインで子どもたちと産直交流

8月20日(土)、コープしがの「夏休み親子企画 鳥取にいったつもり!？」が開催されました。本イベントは、2019年まで毎年開催されていた産直交流のキャンプに代わる企画で、Zoomを利用し、学習会や調理体験を通して商品や酪農について学び、交流することを目的として開催されました。

親子でLet's産直クッキングでは、京都営業所の職員が大山乳業農協の牛乳とプレミアムアイスを使用したアイスドリンク、鳥取県畜産農協がハンバーガー作りを紹介し、それぞれの自宅からオンラインで参加した生協組合員の親子と一緒に交流しました。また、京都営業所の職員が酪農の現場や製造現場の様子を動画で紹介する場面では、参加したお子さんから「工場では何人くらいの方が働いていますか?」「牛さんは何年くらい生きますか?」といった質問があり、商品や酪農のことに興味を持って頂いたように感じました。

画面越しではありましたが、子どもたちの笑顔が印象的で、夏休みの楽しい思い出になったのではないかと思います。来年は新型コロナウイルスが終息し、鳥取でキャンプが開催できることを願っています。



新しく購入した「フォレージハーベスタ」



取材にご協力頂いた真山秀樹さん

指導課レポート

「フォレージハーベスタ」で順調な刈り取り作業 飼料用トウモロコシの生育も良好

大山ビューコントラクター組合では7月末から飼料用トウモロコシの刈り取り作業が始まりました。

今年は新たに収穫に使用する機械「フォレージハーベスタ」を導入し、刈り取り作業を行っています。

今回導入した「フォレージハーベスタ」は畜産クラスターの関連事業「令和3年度 畜産・酪農収益力強化総合対策事業(機械導入事業)」を活用し購入したもので、作業効率を改善するために以前のものより一回り大きな機械を導入しました。

大山ビューコントラクター組合 組合長の真山秀樹さんに今年の飼料用トウモロコシの生育や刈り取りの進捗を伺ったところ、今年は雨風が少なく、トウモロコシが倒れることも少なかったため、例年より生育具合は良好で、収穫量も多いとのこと。また、新しく導入した機械により刈り取り作業も順調に進んでいるそうです。刈り取りのようすは今月号の表紙にて紹介しています。

指導課 通信

今月のトピックス

- ・ 飼料作畑の現状と土壌分析結果の意義と生かし方について
(株)ワコー農材 松隈

飼料作畑の現状と土壌分析結果の意義と生かし方について

1. 土壌分析の必要性

自給飼料作物の生育には、その畑が持つ力を把握することが大切です。土壌の養分バランスが前作の影響を受けることはご存じの事と思います。

現在の畑が持つ力や次期作物への必要な養分を考慮した施肥、土壌改良資材の投入を考えるのが基本です。土壌分析を行って客観的な数値を把握し、適宜、肥料の種類、投入量を判断いただく事をお勧めします。

今回は、土壌分析結果の見方等、要点を絞ってお話いたします。

2. 土壌分析依頼書について

土壌の分析につきましましては、ご依頼される当初に依頼書等の記入事項欄があります。

私どもワコー農材分析機関では、分析数値のお知らせと共に分析結果を元に施肥アドバイスに記載することがありますが、依頼書に記載してある情報のみが、その畑(土壌)に係る情報となりますので最も重要な意味を持ちます。

特にその土地がどのような経緯をたどったか、現状の作付け状況、これから作る作物、スケジュール等の見込み、また従来の収量、品質など、又借地であるかどうかなどが土壌改良施肥などに大きく関わります。凡そ10アール当たり10cm耕土で約100トン内外の土があります。分析土壌検体500g程度で全てを把握する事は出来ませんが大まかな傾向を知る事ができ、又依頼書等の聞き取り調査などを総合して今後のスケジュールなどを確定させることができます。

土壌分析を依頼される場合は、依頼書(例:図1)に出来るだけ多くの情報を記載していただく事で次期作への施肥診断に大きく役立ちますのでよろしくお願いいたします。

昨今では令和3年11月以降国際情勢の悪化により、肥料原料の高騰などがあり、酪農生産者では特に自給飼料生産に辺り厩肥類の多投入は増すものと考えられます。厩肥類、化学肥料の施肥量の最適化と土壌改良剤の選択等にあたり土壌分析は更に重要となつてまいります。

◀ 図1 土壌分析依頼書(例)

前作作物名	予定作物名	畑の経緯	耕作方法
前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴
前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴
前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴
前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴
前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴
前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴
前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴	前作の施肥歴

3. 分析結果の見方

PH(酸度)

● 高い数値は厩肥、堆肥の多投入、転作地の過去の履歴によるものなどが考えられます。PHが極端に高い数値の場合、他の分析項目の勘案も必要ですが、総じて加里過剰ほか過剰成分もありません。土壌改良剤等の施用で改善が見込まれます。

令和3年度の鳥取県内の分析値例(一部項目)

項目	高い数値	低い数値
PH(酸度)	7.4	5.0
EC(電気伝導度)	0.24	0.04
加里(交換性加里)	235	13
腐植	12.1	3.7
CEC(陽イオン交換容量)	38.4	13.0

※例、上記分析数値から読み取れる圃場の状況の見方(●自給飼料としての側面と◎作物生育の側面)

● 低い方の数値は耕作放棄地の土壌、遠隔地圃場の為などにより土壌改良がなされにくい、厩肥、堆肥の投入が少ない。過去に作付けされた作物による影響などが推測懸念されます。

◎ 作物生育では発芽に大きく関与する。(作物別PHは別紙として転作等では矯正は必須)
◀対策▶図2例を参考に圃場の管理をお勧めします。

図2 転作対象作物などの土壌分析値

● 転作対象作物などの土壌分析値 (分析値事例)
 【デントコーン、イタリアン等を含めた一般的な飼料用の基準値】

基準値A、(20前後) B、(5以下) C、(30以下) D、(10以上) E、(1000以下) F、(200以上) G、(15以上) H、5.5-6.5 I、0.2以下 (基準値は凡そこれ位の数値があれば健全な数値として)

対象作物	A、CEC (me)	B、硝酸チリ (39 g)	C、カリ (39 g)	D、有効チリ (39 g)	E、有機炭素 (%)	F、チリ/有機炭素 (%)	G、チリ/チリ (%)	H、PH	I、EC 電気伝導
(水稲:1)	19	1	7	9	2300	490	10	6.1	0.09
(水稲:2)	17	1	8	11	1600	510	7	6.2	0.02
(イグサ)	16	19	71	82	700	90	78	6.1	0.85

平成25年(分析値例)
 水稲 一火山灰土
 イグサ 干拓地
 基準値は作付け前段階数値 (CEC数値を勘案しない場合)

※ 転作に係る注意改善改良点について
 ● 水稲地より - 一般的に成分不足の状態であるとして、耕土が浅い、水はけが悪いなど
 ● イグサより - カリ、硝酸チリ、チリ、有機炭素の過剰な欠乏の改良
 転作予定の土壌状態に付きましては様々です、その都度の分析をお奨めします。
 ○上記の用に作物別に改良経過が有りますので飼料畑向けに改良する必要があります。

EC(電気伝導度)

● 現状の推定窒素量による作付け作物への施肥量の勘案などの考察材料となります。

● 窒素過多作物の場合、糖質とデンプン化への移行量が少ない為、良質サイレージの原料草となり得ない場合が多く、また塩類濃度、過剰成分の有無が疑われます。

◎ 作物生育では、濃度障害による生育障害などが発生します。

加里(交換性加里)

● 加里、苦土、石灰の数値確認。成分の

苦土(交換性苦土)

● 不足するとカルシウム不足と共にグラステタニーに関与、加里過剰によるものが多い。

◎ 作物生育では、葉緑素の主な構成元素(健全な葉色など)葉受光性に大きく関与する。リン酸吸収体内移動に関与する。炭水化合物の代謝、リン酸の代謝に関与。土壌中の苦土が増大すると作物中のリン酸は次第に増大傾向となる。

石灰(交換性石灰)

● 有機物質の作物内中和作用。
 ◎ 炭水化合物の代謝に必要であり、根の生

バランスを整えることで、グラステタニー(牧草を主な原因とする低マグネシウム血症を呈し、興奮および痙攣などの神経症状を示す疾病)など、牧草から来る牛の障害の回避などに役立ちます。

◎ 作物生育では、不足すると結実などに関与する。過剰になると窒素過剰にもなりやすい。土壌中のカリが増大すると牧草中のカルシウム、マグネシウムは減少傾向となる。

育を促進する。土壌中の石灰分が増大すると牧草中のカリは減少傾向になる。

CEC(塩基置換容量)

● 土壌の養分を受け入れる胃袋の大きさ、満腹度を表しCEC値が大きいほど収穫量が多いとも言える。

腐植

● 厩肥、堆肥が多投されているか否かの判断材料となり得る。

※ 大まかに分析結果数値の見方についてご説明しましたが、作付けする作物や耕作地の条件等、また総合的な分析項目毎数値のバランスによって分析数値の訂正範囲が変わりますのでご留意ください。

冒頭に記述いたしましたでしたが、少量の分析検体で大きな圃場の全てをはかり知ることはできませんが、大まかな傾向を知る事ができ、土中に含まれる養分を数値で示してくれる土壌分析を活用すれば、「何が足りないか」または「何が多すぎるか」を客観的に把握できるので、施肥量の調整が容易になります。

土壌分析を依頼するには費用も掛かります。圃場毎すべてを分析依頼するのは難しいことと考えます。圃場の位置、圃場の傾向などで分類することで費用を抑制したうえで、土壌分析を適宜実施していただき、化学肥料の施肥量の適正化、厩肥類をご利用ください。

活動報告

中国地区酪農政治連盟協議会が緊急特別支援要請

中国地区酪農政治連盟協議会は8月9日(火)、生産資材高騰により酪農家が厳しい状況にあるとして衆議院・参議院会館内で中国地区選出の国會議員へ緊急要請活動を行いました。中国5県から12名が参加し、それぞれの県選出国會議員へ「緊急特別要請書」を渡し、支援を要請しました。

鳥取県からは大山乳業農協の小前組合長、亀田常務が参加し、島根県と一緒に赤澤議員、舞立議員、石破議員へ順次要請を行いました。小前組合長より「生産コストの上昇が限界を超えており、このままでは酪農家が存続できない」と窮状を訴えられ、酪農継続に向けた緊急支援と配合価格の高止まりに対応できる配合飼料価格安定基金制度の変更、高騰する輸入粗飼料対策の創設など酪農経営のセーフティネットの構築を要請されました。先生方は「緊急特別要請書の内容をしっかりと受け止め、何が出来るか考える」と述べられ、課題解決に全力を尽くす考えを示されました。



(写真左から) 赤澤議員、小前組合長

第17回 製造記録

まだまだ暑いですが、朝晩はようやく過ごしやすくなってきました。

さて、私たちは様々な製品を製造していますが、製造の際には、製品の作り方だけでなく、洗浄・殺菌、機械の保守管理などなどたくさんの手順に沿って製造しています。それらを守ることで、消費者のみなさんに安心・安全をお届けすることができるわけですが、手順を守っているかどうかというのは、記録として残すようになっていきます。それが「製造記録」です。製造記録には、ありとあらゆる作業を記録として残しています。例えば1つの材料を計量することにチェックを入れる、部品を洗浄したらチェックをするなど、作業するたびに記入します。そのため、牛乳だけでなく菓子、アイスも作っている私たちの工場では、膨大な量の記録表があります。

そんな中、最近では記録表をデジタル化できないかという検討もされています。これまでの紙中心の記録からデジタル化にシフトすることで、作業する人の負担を軽くしながら、これまで通り記録が残せるようにしていく予定です。消費者のみなさんに安心・安全をお届けする体制はそのままに、他にも改善できるところは改善していきたいですね。



J A鳥取県人権・同和問題対策推進本部からのお知らせ

J Aグループ鳥取では人権・同和問題に対して、令和3年度より「第8次(2021～2023年度)J A鳥取県人権・同和問題対策推進方針」をもとに、差別と偏見のない社会の実現のために取り組んでいきます。

組合員の方はもとより、地域住民の方にも人権・同和問題が身近な存在であることに気づいてもらうため、第8次期間中(2021～2023年度)も引き続き、人権・同和問題に対する啓発記事を年4回連載します。

第28回 「水平社創立100年にひらく」

2022(令和4)年3月3日、我が国初の人権宣言である「水平社宣言」が出されて100年を迎えました。

この宣言は、1922(大正11)年3月3日、京都市にある岡崎公会堂に部落差別に苦しむ人々が全国各地から集まり「全国水平社」を結成し、その創立大会で読み上げられました。全国水平社とは、被差別部落の人々が差別と貧困からの解放を求めて結成した自主的な部落解放運動の全国的な団体です。「水平社」は、「人間は生まれながらにして平等な存在である」という理念から名付けられ、宣言には、長い歴史の中で不当な差別を受けてきた人々の痛切な思いとともに、すべての人があらゆる差別を受けることなく、人間らしく生きていける社会の実現を願う気持ちが込められています。

また、宣言の最後に書かれた「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という言葉には、「人間を尊敬し、大切にしよう」という思いは、大切にしたい」という思いが込められています。水平社宣言に込められた被差別の立場にある人々の願い

を感じるとともに、次世代を担う子どもたちのためにも、全ての人の人権が尊重される心豊かな社会の実現を目指し、一人ひとりが差別をなくす行動を続けていくことが大切です。水平社宣言は、インターネットなどでも掲載されていますので、皆さんも内容を確認いただき、当時の思いを理解いただくとともに、これからの自分の行動の一助として頂ければと思います。



私のオススメ

みなさんこんにちは。指導課の杉嶋です。

私のオススメは「白バラヨーグルト脂肪ゼロ」です。ヨーグルトは朝のイメージがありますが、腸の働きは就寝時に活発になるといふ話を聞いてから、毎晩「デザート」として食べています。

ミックスマックスに付けて食べるので脂肪ゼロを選びましたが、あっさりしたヨーグルトに濃厚なナッツはよく合うので、食べすぎには注意です。腸活に興味がある方は試してみてください。



ミックスマックスと相性抜群です！



大山乳業農業協同組合 からののお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

理事会にて次の議案が決議されました

8月20日提出議案

- 第1号議案 7月末経営検討について
- 第2号議案 緊急飼料利用奨励金について
- 第3号議案 乳用牛クレジット(リース)について
- 第4号議案 諸規定の変更について

異動辞令等

【令和4年9月21日付け】

(所属及び役職)	(氏名)	(旧所属及び役職)
製造部 製造管理課 職員	山根 千尋	総合企画課 職員
総合企画室 総合企画課 職員	清水 杏珠	営業課 職員

【下記の方が退職されました】

(所属及び役職)	(氏名)	(退職日)
製造部 デザート課 職員	種子 千春	令和4年8月20日付

直売所カウイーのみらく館からのお知らせ

ハロウィンセット

販売期間：10月22日(土)～10月31日(月)

ハロウィン仕様のかわいいラッピングに大山乳業農協の乳製品やお菓子等を詰め込んだバラエティセットです。セットの内容はお店のスタッフへお声かけください!

1セット **1,000円** (税込)

新商品発売について

乳飲料・菓子の新商品のご紹介です

白バラ紅茶オ・レ

500ml・1000ml

10月3日新発売

期間限定

インド産紅茶を使用した「ホッ」とするやさしい味わいの紅茶オ・レです。ミルク分を55%使用したまろやかな風味と上品な紅茶の香りをお楽しみください。



販売期間：12月中旬頃まで

りんごとおいものクリーム大福

1個

10月17日 一般販売開始

期間限定

鳥取県産のりんごを使用したホイップクリームをやわらかくなめらかな餅と鳥取県産のさつまいもを使用したさつまいもあんであみ込んだ大福です。りんごの甘酸っぱさとさつまいもの甘みのハーモニーがお楽しみいただけます。



販売期間：2023年1月末頃まで

ホームページ

からのお声



鳥取県を旅行した際、白バラフルーツを飲んでとても美味しかった思い出があります！もちろん、お風呂上がりはプレミアムアイスで1日を締めたいです。これからも応援しています!! (東京都)

白バラの瓶牛乳が特に好きです！学習帳やボールペン、スマホケースなどの白バラグッズも持っています！新商品も楽しみにしています。(島根県)

新潟県に住んでいるので毎日飲めないのが残念ですが、母の実家でお取り寄せをしたときに、白バラの美味しさを堪能させてもらっています。友達にも分けて、白バラの美味しさを広めています。これからも美味しい牛乳を作ってください。(新潟県)

白バラコーヒーが大好きです。白バラコーヒーのアイスももちろん美味しいです！これからも美味しい商品をお販売してください。期待しています！(福岡県)

瓶入りの牛乳が少なくなる中で提供していただいているので、応援しています。これからも瓶入り牛乳の販売継続をお願いします。(大阪府)

安心して工場見学やお買い物に行ける日を楽しみにしています！それまでは、牛乳をのんで身体作りをして健康に過ごせるように努めます！応援しています。(鳥取県)

「鳥取県の美味しいもの」を紹介する絵本に白バラ牛乳が登場!

白バラ牛乳を紹介して頂いた絵本「こめたのっとりみーつけた」は、美味しいものを見つけると、くるくる回る「おにぎりセンサー」がついた帽子を持つ男子「こめた」が鳥取県を訪れ、地域の魅力を発見していくストーリーです。

今回、白バラ牛乳は「鳥取県の美味しいもの」として紹介されており、鳥取県の魅力の1つに選ばれました。鳥取県の魅力が可愛らしいイラストでたっぷり18ページにわたって紹介された絵本は、子供も大人も楽しめる1冊です。ぜひご覧ください。



編集後記

大山乳業農協では先月「カチョカバロチーズ」と「クリームチーズ」が発売されました。皆さんはもう召し上がられましたか? 新発売されたチーズが、鳥取県の酪農や乳業を盛り上げる一助になればと思います。

組合の公式SNSアカウントでも情報発信中!!



twitter



Facebook



Instagram



YouTube

大山まきば
みるくの里も
Instagram
を始めました!



Instagram

酪農だよりに関するご意見ご感想は大山乳業農協
お問合せフォームからお寄せください
QRコードからもメールアドレスを取得できます▶



全国酪農業協同組合連合会 永年勤続表彰

8月30日(火)、全国酪農業協同組合連合会より永年勤続表彰が行われました。

この表彰は、全国酪農業協同組合連合会事業の進展に貢献のあった全国の会員役職員の中から勤続年数20年以上の方を表彰するもので、この度、大山乳業農協から指導課の杉川課長補佐と検査課の下田課長補佐が表彰を受けました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大により表彰は組合内で行われ、小前組合長よりお祝いの言葉と共に表彰状を授与頂きました。

杉川課長補佐、下田課長補佐、おめでとうございます。



あの日・あの時

大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます



今回紹介するのは、平成2年7月20日発行「酪農だより第342号」より、当時販売されていたヨーグルトの商品写真です。宅配限定で販売されていたのむヨーグルト「酪」という商品は、瓶に入ったのむヨーグルトだったそうです。昔はのむヨーグルトにも瓶入りの商品があったこと、ご存じでしたか?

酪農だより vol.728



大山乳業農業協同組合

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/令和4年9月20日

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保 37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp